

## 全国被爆二世団体連絡協

### 3世組織の検討会設置へ

被爆二世らへの法的援護  
実現や核兵器廃絶を目指す

「全国被爆二世団体連絡協  
議会」（崎山昇会長、全国



「全国被爆二世団体連絡協議会」  
のオンライン総会に参加する崎山  
会長（左）ら長崎の被爆二世

（長崎市内）

19団体）は2日、2年に1  
回の総会をオンラインで開  
催した。今後2年間に、3  
世の組織づくりについて話  
し合う検討会を設置する方  
針を確認した。

崎山会長によると、これ  
までも3世の組織化を探る  
議論はあったが、具体的  
動きは初めて。被爆77年を  
迎えて2世の平均年齢は上  
がっており、2世運動の継  
承が課題となりつつある。  
最終的には全国の3世同士  
が連携する組織を目指すし、

検討会では体制や運営の在  
り方などを協議する。一方  
で総会では「私たち2世と  
若い3、4世では意識がか  
け離れ、活動に引き込むの  
が難しいのでは」と懸念す  
る声も上がった。

総会では他に、6月の核  
兵器禁止条約第1回締約国  
会議と、8月の核拡散防止  
条約（NPT）再検討会議  
へ、同協議会代表団の派遣  
を検討することも確認。被  
爆地広島を地元とする岸田  
文雄首相に、非核三原則の  
堅持や被爆二世らの法的援  
護などを求める要請文を採  
択。役員改選もあり崎山会  
長が再任された。任期は2  
年間。（三代直矢）